

第5章 研究者所属機関・研究者別動向調査

第1節 研究者所属機関別論文発表件数上位ランキング

電気化学キャパシタに関する論文の研究者所属機関別上位ランキングを、全論文誌について表3-5-1に、国際的な主要論文誌について表3-5-2に示す。全論文誌を対象とした場合、関西大学が1位、信州大学が2位、パワーシステムが3位になっており、日本国籍の研究機関が上位を占めている。一方、国際的な主要論文誌に対象を限定すると、中国科学院が42件で1位、以下4位までを中国と台湾の大学と研究機関が占めている。

表3-5-1 研究者所属機関別の論文発表件数上位ランキング（全論文誌）

順位	研究者所属機関名(国籍)	発表件数
1	関西大学	83
2	信州大学	71
3	パワーシステム	63
4	東京農工大学	58
5	中国科学院(中国)	57
6	山口大学	53
6	明電舎	53
8	産業技術総合研究所	52
9	ポズナン工業大学(ポーランド)	48
10	日本電気	43
11	国立成功大学(台湾)	42
11	国立中正大学(台湾)	42
13	九州大学	41
14	復旦大学(中国)	38
15	鉄道総合技術研究所	37
16	南京航空航天大学(中国)	36
17	ソウル大学(韓国)	35
18	カリフォルニア大学(米国)	32
18	パナソニック	32
18	蘭州大学(中国)	32

表3-5-2 研究者所属機関別の論文発表件数上位ランキング（国際的な主要論文誌）

順位	研究者所属機関名(国籍)	発表件数
1	中国科学院(中国)	42
2	国立中正大学(台湾)	40
3	国立成功大学(台湾)	34
4	復旦大学(中国)	33
5	九州大学	29
5	山口大学	29
7	延世大学(韓国)	28
8	ソウル大学(韓国)	27
8	ポズナン工業大学(ポーランド)	27
8	韓国科学技術研究院(韓国)	27
8	南京航空航天大学(中国)	27
12	関西大学	26
12	信州大学	26
14	国立台湾大学(台湾)	25
15	防化研究院(中国)	22
16	産業技術総合研究所	21